

文芸特集号 原稿をお寄せ下さい

ことしは発行日を11月中旬に戻します。創作や随筆をはじめ各種評論、詩・短歌・俳句・川柳——ジャンルを問わず、広く原稿を募集しております。

ただ、特別号なので発行経費は執筆者負担となっております。しかし、メールによる入力が増え、さらにコスト減にも努めた結果、かつてのような高額ではなくなりました。ぜひ、会員の総力による「文芸特集号」を実現しましょう。

応募規定

- (1) 内容は自由です。海外へ行かれた紀行文などはいかがでしょうか。カラー写真付きで、よい思い出を。
- (2) 枚数 とくに制限はありません。1行27字詰め×22行の2段組みが1頁です。400字詰め原稿用紙に換算してみますと、3枚弱になります。
- (3) 頁負担金 1頁 2,500円
かつては頁数に応じて、減する方法をとり、長編の執筆者の軽減を図りました。昨年も当初は6,500円～4,500円でしたが、最終的に1頁2,500円で収まりました。今回も同様になるでしょう。詩や短歌などは1頁2,000円にします。
- (4) 雑誌購読 予価 700円（1部 1,000円のところ、執筆者割引）。その代わりできるだけ多くの部数をお願いしています。
◎仮に4頁執筆され、10部購入されますと、17,000円です。
ふるって、ご応募ください。

締め切り

原稿の締め切りは10月23日（金）としますが、EメールやCDなどによる出稿は2～3日延長できます。ただし、10月15日までには、執筆・投稿を編集部までご連絡下さい。

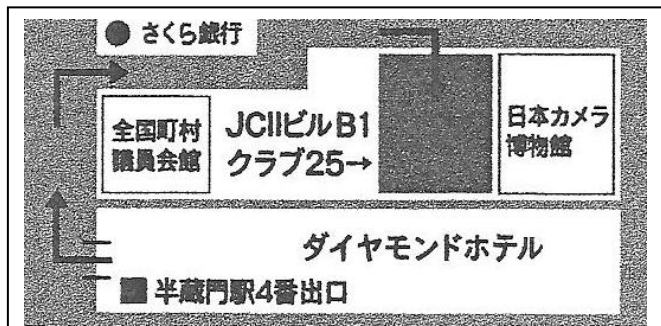
今回は、すでに「司令長官の孤独」山田 遼先生は、ほぼ脱稿されましたし、吉元昭治先生も創作落語を寄せてくださいました。お問い合わせは 事務局 ☎ 042 (344) 8056まで。

イベントの始まりです 皆さま連れ立ってお越し下さい

10月13日「医家写真展」を皮切りに

ことしも
新会場に

22人それぞれ全紙で44点



いよいよ芸術の秋です。私たちのクラブにとつては、年に一度の大事な季節の到来です。今年のトップ・バッターは写真部で、写真展は40回を数えました。カメラそのものの技術的な進化で、だれでも撮影に失敗しなくなりましたが、半面、構図や光の採り方、対象など撮影技術の奥行きが深く、ベテラン会員の作品を鑑賞すると、そのあたりに多く学ぶことができます。

会場は銀座の京セラ・コンタックスさろん後、昨年は新宿御苑のHCLフォトギャラリーに移り、展示場の大きさから作品は半切2段がけでした。

その点、ことしは上記のJCIエフォトサロン「クラブ25」の会場で、全紙に戻し44点です。初めて審査なし自選で2

点までとしました。すると、全員が2点応募され、少し陳列に余裕がなくなりました。来年(10月12日から)16日まで同会場を予約済み)は、このあたりが課題かなと思います。

さて、JCIとは日本カメラ財団(japan camera industry institute)のことで、ここには展示場のほかに「日本カメラ博物館」をはじめ「ライブラリー」や「アカデミー」といったカメラ技術を学ぶスペースもあり、会場に來られたとき、ぜひ覗いてみてください。

懇親会は昨年とおなじように、パソコンからプロジェクトで作品を映しながら、各人の評を伺いたいと思います。場所は写真展会場の近く、ダイヤモンドホテル内の金剛飯店です。会費は1万円とお高くなりますが、ことしは出展を休まれた方や部員以外の参加も歓迎です。

次頁に全出品作品の一覧表を掲載しました。撮影場所等の細かいデータは省略させていただきます。

出展作品一覧 (撮影地のほか説明の大半は省略しました)

氏名	作品 I	作品 II
新井 隆彦	メコンの崖上	メコンの行水
石井 光子	甲斐駒ヶ岳を望む	山中湖の早朝
岩瀬 光	二本の幹	釣り人と橋 (中国=世界遺産)
大武 秋笙	トルコ軍楽隊の入場行進	トルコ軍楽隊の演奏
大武 省三	雨上がりの薔薇	仲良し
大森佐一郎	コブシの咲く頃	根雪の来る頃
木村 典子	木組みの家	ハメルンの笛吹き男とネズミ
斉藤 三朗	二つの顔の丘 I (ネモフィラ群落)	二つの顔の丘 II (コキア群落)
佐々木 正	日本の花嫁	千の滝に佇む
白矢 勝一	シャンソンに誘われて	隠れタバコ
白矢 泰三	お見合い写真	明石の月
白矢 智靖	魚いるか	飛び込み禁止なんて平気
白矢 輝靖	街角で一人	甘い蜜
関口 直男	立夏の夕日	盛夏に咲く
高橋 俊一	暁の槍が岳	黎明の剣岳
鷹橋 靖幸	雨上がり	光の芸術
竹腰 昌明	タオルミーナの漁船	記念撮影 (中国・麗江)
逸見 和雄	初夏の棚田	秋の棚田
本村 美雄	美白の干潟	鐘を鳴らそう
三上 忠英	田んぼアート (弁慶と牛若)	踊り子
村上 泰	じゃこばサボテン	真夏の木洩れ日
矢崎 定造	祭りのひと時	二匹の大獅子

ドクターズ・ファミリーコンサートへのお誘い

10月17日(日) 正午開場 12:30 開演 (入場無料)

音楽の友ホール 新宿区神楽坂6-30 ☎03-3235-2115

ことしは独唱に新しい会員が2人加わりました。その一方で残念ですが、器楽演奏が少なく、これからは、ご家族のうちお孫さんらでピアノを習っておられましたら、ぜひ参加して日頃の腕前を披露してください。

会場は昨年と同じ音楽関係の図書出版でおなじみの「音楽の友」社のホールです。営団地下鉄「神楽坂駅」から徒歩1分ほどですが、改札口を出るまでとホール入口の階段がネックで、足下には十分お気をつけください。

9月13日現在の出演者と演奏曲目は以下の通りです。まだプログラムは編成しておりませんので、順不同ですが出演者と曲目をご紹介します。



▽皆でうたおう 「旅 愁」 作詞 犬童珠溪 作曲 J. P. オードウェイ
歌唱指導 刑部美也子

「静かなしづかな……」という歌い出しの歌詞で、耳になじんだ歌です。歌の指導は、数年前まで萩野昭三先生にお願いしておりましたが、ご病気で第一線を退かれたあと、それまで伴奏を勤めて下さっていた刑部さん(女声コーラスの伴奏者)に引き継いでいただいています。

▽女声コーラス 小川 昭子ほか 元コーロアキ ピアノ伴奏 刑部美也子
「まちぼうけ」 作詩 北原白秋 作曲 山田耕筈
「円舞曲」 作曲 ブラームス
「埴生の宿」 作詞 里見 義 作曲 H. R ビショップ

▽ソプラノ独唱 大坪 公子 ピアノ伴奏 ◎◎ ◎◎
「母もなしに」 修道女アンジェリカから プッチーニ作曲
「楽しい思い出はどこに」 フィガロの結婚第3幕から モーツァルト作曲
いずれもオペラからです。

▽ソプラノ独唱 松木 耀子 ピアノ伴奏 平野 義子
「さくら横丁」 作詞 加藤 周一 作曲 別宮 貞雄
「アドレアーナ」(ルクブルール 私は芸術の下僕) 作曲 チレア

▽ソプラノ独唱 青木 明子 ピアノ伴奏 要 浩子
「あなたの優しい声が」 清教徒から 作曲 ベッリーニ
「今の歌声は」 セビリヤの理髪師から 作曲 ロッシーニ

▽メゾソプラノ独唱 加茂 和子 ピアノ伴奏 原田 園美
「貴女が私の死の栄光を」 作曲 スカルラッチ
「アヴェマリア」 作曲 カッチーニ

▽テノール独唱 浅野 尚 ピアノ伴奏 西島 麻子
「くちなし」 作詞 高野喜久雄 作曲 高田 三郎
「母」 作詞 竹久 夢路 作曲 小松 好輔
「冬」 作曲 アカンポーラ

▽ソプラノ&バリトン 菊地 遼二 ソプラノ 辻村 倫子
ピアノ伴奏 長谷川 由希
「La Traviata より 第二幕：ヴィオレッタとジェルモンの二重唱」
作曲 ヴェルディ

▽マンドリン合奏

第一マンドリン 亀岡 智子 第二マンドリン 木内 徹子
マンドラ 笹 美智子 ギター 高橋 妙子
キーボード 中山 真理

「カッチーニのアヴェマリア」

「I'll Be Home for Christmas」 オリジナルは1943年、ビング・クロスビーが第二次世界大戦中に愛する人を残し、戦地にいる兵士たちの気持ちを歌って大ヒットした曲です。

「We Need a Little Christmas」 ミュージカル「メイム」から

▽バイオリン独奏 中村 雄彦 ピアノ伴奏 豊島 玲子
「バイオリン協奏曲第2番ト長調より 第1楽章」 作曲 ハイドン

▽クラシックギター独奏 岩崎 哲
「ギター組曲ホ短調より」 ブーレ 作曲 バッハ
「二つのギター」 ロシア民謡

▽ピアノ独奏 萩野 仁志
「展覧会の絵より」 作曲 ムソルグスキー

第58回「医家美術展」銀座・悠玄で

11月26日(木)～28日(日) 最終日午後3時終了

昨年と同じ会場です。地下から2階までを専有して展示します。また最終日には画廊内で懇親会を開きます。近日中に参加、あるいは不参加などのご意向を伺います。作品名、号数など出品者一覧を下記ご紹介いたします(不明な部分は省略)。



出品者	作品	種類	号数
青山 六弥	鬼無里浅春	油彩	F 20
秋葉 琢磨	生きる(屋久杉)	墨絵	F 50
	俺達の連山(日本アルプス)	墨絵	F 50
	染付 幾何学模様大皿	陶器	
秋葉 則子	Sewing gramma		F 8
	葺屋根の里		F 30
	花文染付皿	陶器	45 cm×7 cm
浅谷 浩正	塩引き鮭	油彩	31 cm×91 cm
	思い出の人形	油彩	F 6
	出品予定		
安彦洋一郎	春彼岸	油彩	F 10
江川 政昭	高千穂—真名井の滝	油彩	F 20
榎本 貴夫	ノヴォデーヴィッチ修道院		50 cm×44 cm
海老原隆郎	花(あじさい)		43 cm×36 cm
荻野 公嗣	バレエレッスン		F 50
海野 泉	秋の鳥海山		F 20
	秋の花とフルーツ		F 20
	出品予定		
金古 進	初夏の溪谷	油彩	F 10
唐澤 信安	あじさい I	油彩	F 10
木内 徹子	あじさい II	油彩	F 10
木村 典子	川の要塞	油彩	F30
楠 登	京の夢 大阪の夢	油彩	F 10
蔵本美與子	アルザスワイン街道	油彩	F 12
桑野 茂	ニースの坂道		F 100
櫻井 實	森深沈	水彩	F 20
	追憶	水彩	F 20
	黄ホトトギス	水彩	F 10

柴崎 晃	出品予定		
白矢 勝一	人物	油彩	—
	街角	油彩	—
	ゆめ	油彩	—
白矢 けんじ	耳なし芳一	パステル	—
	花火	パステル	—
	花	パステル	—
白幡 雄一		油彩	F 3 0
白幡 裕子		パステル 2点	P 8 F 1 0
須賀 功	婦人像		F 8
鈴木 博	更紗		F 3 0
鈴木 啓之	古代黒米		F 3 0
	縄文の夜	信楽の壺	
隅坂 修身	旅の思い出 I II III	パステル	各F 6
高木 實	ひまわり		F 3 0
中村 純一	江戸時代初期女人像	日本画	F 2 0
新本 稔	未定	油彩	
向井 崇	オペラ座の怪人	油彩	F 2 0
村山 正則	七五三風景		F 8
安田 修一	湯の丸高原の風景	油彩	F 3 0
安田 和子	静物	水彩	F 6
	憩いのひととき	油彩	F 8 0
山崎 嘉弘	テーブルの上のカラー	油彩	S 5 0
渡辺 晋	金婚式後	油彩	P 1 2

東京銀座画廊美術館で

銀座貿易ビル8階(東京都

中央区銀座2丁目7-18

☎03・3564・1644

医家書道展

10月19日(火) ~ 24日(日)

9月1日現在、25人から40点の申し込みをいただいております。また、来春の医学会総会への出品も、9人が予定しています。こちらには「賞」が出るようなのですが、審査をお願いする先生もおりませんので、今回の書道展の際に、会場で人気投票をしたらいかかと考えております。部員の皆さまのご意見を伺わせて頂ければ幸いです。

書道部 部長 小口英世